

(6) トルコギキョウ

主要病害虫別防除方法

病害虫名 (病原体)	農薬によらない防除	農薬による防除
トルコギキョウ葉巻病 (TYLCV) (コナジラミ類)	①施設開口部を目合い0.4mm以下の防虫網で覆い、媒介虫であるタバココナジラミの侵入を防ぐ。 ②罹病植物を除去する。 ③ほ場内外の雑草はコナジラミ類の発生源となるので除去する。	①発生初期からコナジラミ類に適用のある農薬を散布する。 (例) ジノテフラン水溶剤(スタークル顆粒水溶剤、アルパリン顆粒水溶剤など) チアメトキサム水溶剤(アクタラ顆粒水溶剤) ニテンピラム水溶剤(ベストガード水溶剤) ピメトロジン水和剤(チェス顆粒水和剤) ピリフルキナゾン水和剤(コルト顆粒水和剤)
	【参考事項】 タバココナジラミは薬剤感受性などが異なるバイオタイプBとバイオタイプQが存在し、遺伝子診断のみで識別可能である。	
炭疽病 (<i>Colletotrichum</i>)	①発病葉や発病株は直ちに取り除き、適切に処分する。 ②適切な栽植密度や換気により、通風を良くする。 ③強い灌水により土壌を跳ね上げたり病斑上の分生子が飛散したりする場合があるので、注意する。	①発病初期から農薬を散布する。 (例) マンゼブ水和剤(ジマンダイセン水和剤) 茎葉に汚れを生じるので、採花期直前には使用できない。
	【参考事項】 多湿条件で発生しやすい。 菌の生育適温は25~30℃付近である。	
灰色かび病 (<i>Botrytis</i>)	①日中は十分に換気したり、夜間暖房機を利用して、多湿を避ける。 ②適切な栽植密度や換気により、通風を良くする。 ③発病葉や発病花を早めに取り除き、適切に処分する。 ④栽培終了後の株は放置しない。	①発病初期から農薬を散布する。 (例) ジェトフェンカルブ・チオファネートメチル水和剤(ゲッター水和剤) フルジオクソニル水和剤(セイビアーフロアブル20) ペンチオピラド水和剤(アフエットフロアブル) ポリオキシシン水溶剤(ポリオキシシンAL水溶剤) 抵抗性系統を発生させるおそれがあるので、同一系統農薬の連用は避け、ローテーション防除する。
	【参考事項】 発病適温は20℃前後であり、多湿条件で発生しやすい。 宿主範囲が広い多犯性の菌である。	
アザミウマ類	①施設やその周辺の除草をする。 ②施設の開口部に目合い0.4mm以下の防虫網を張り、侵入を防ぐ。0.8mm目合いの赤色系ネットを使用すると侵入防止効果が高まる。	①発生初期から農薬を散布する。 (例) アセタミプリド水溶剤(モスピラン顆粒水溶剤) アバメクチン乳剤(アグリメック) トラロメトリン水和剤(スカウトフロアブル) トルフェンピラド水和剤(ハチハチフロアブル) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、作用性の異なる系統の農薬でローテーション防除を行う。 ②生育期に農薬を株元散布する。 (例) ベンフラカルブ粒剤(オンコル粒剤5、オンコルOK粒剤)
	【参考事項】 ヒラズハナアザミウマ、ミカンキイロアザミウマなどが寄生する。 被覆資材として近紫外線除去フィルムを使用することにより、被害を軽減させることが知られている。 高温期の作型で多発しやすい。	
アブラムシ類	①施設やその周辺の除草をする。 ②施設の開口部に目合い1mm以下の防虫網を張り、侵入を防ぐ。 ③定植時にシルバーテープを貼るなどの忌避対策を行う。	①発生初期から農薬を散布する。 (例) ジノテフラン水溶剤(スタークル顆粒水溶剤、アルパリン顆粒水溶剤など) トラロメトリン水和剤(スカウトフロアブル) ピリフルキナゾン水和剤(コルト顆粒水和剤) ②発生初期から農薬をくん煙する。 (例) アセタミプリドくん煙剤(モスピランジェット) ③発生初期から農薬を株元散布する。 (例) クロチアニジン粒剤(ダントツ粒剤) ニテンピラム粒剤(ベストガード粒剤)
	【参考事項】 モモアカアブラムシ、ワタアブラムシなどが寄生する。	
クロバネキノコバエ類	①灌水過多にならないようにする。	①発生初期から農薬を土壌灌注する。 (例) シロマジン液剤(トリガード液剤)
	【参考事項】 育苗用土やほ場に多量の有機物を投入したり、土壌水分が多い状態で多発する。	

病害虫名 (病原体)	農薬によらない防除	農薬による防除
シロイチモジ ヨトウ	①施設の開口部に目合い4mm以下の防虫網を張り、侵入を防ぐ。	①発生初期から農薬を散布する。 (例) クロマフェノジド水和剤 (マトリックフロアブル) テブフェノジド水和剤 (ロムダンフロアブル)
ハダニ類	①施設やその周辺の除草をする。	①発生初期から農薬を散布する。 (例) アセキノシル水和剤 (カネマイトフロアブル) エトキサゾール水和剤 (バロックフロアブル) シフルメトフェン水和剤 (ダニサラバフロアブル) ピフルブミド・フェンピロキシメート水和剤 (ダブルフェースフロアブル) フェンピロキシメート水和剤 (ダニトロンフロアブル) 薬剤抵抗性の発達を回避するため、作用性の異なる系統の農薬でローテーション防除を行う。
<p>【参考事項】 比較的乾燥した条件で増殖率が高い。</p>		